

「大規模展示施設・機能の充実のあり方について（案）」に対する意見の要旨と考え方

No.	意見の概要	意見に対する考え方
1	新しい大規模施設を利用して行われる大型展示会や、学術発表会などを具体的にイメージした「実施計画指針」を作成したうえで、新施設の基本設計や実施設計等を行うべきである。	「大規模展示施設・機能の充実のあり方について（案）」をとりまとめるにあたり、専門機関に委託して、新しい展示会・イベントの可能性及びその効果について調査分析を行っており、こうした結果もふまえながら、設計等に取り組む。
2	採算性の確保について、どこまで収支問題を考え提案されているか、よく分からない。何回大規模催事を開催するか想定して収支計画などをつくる必要がある。	既に報告書案(P. 22)に記載のとおり、採算性の確保のため、積極的な催事の企画・提案や、開催・誘致、関係団体との連携強化、運営団体の組織強化が重要であり、しっかり対応する必要がある。
3	中小催事が均質性をもって利用できる施設にする必要がある。	既に報告書案(P. 16)に記載のとおり、「多機能型展示場」として整備し、可動間仕切で展示場を分割利用できる機能を持たせることとしている。
4	駐車スペースの確保は重要な課題。	駐車スペースの確保は重要な課題であることから、今後、具体的に計画を固めていく段階で、シャトルバスの運行など交通アクセスの対応とあわせ、適切なものとなるよう検討する。